



5年の復習

1 〈小数の計算〉 次の計算をなさい。わり算は、わり切れるまで計算をなさい。

□(1) 5×3.6

□(2) 2.63×6.4

〔 〕

〔 〕

□(3) $84 \div 0.7$

□(4) $25.5 \div 7.5$

〔 〕

〔 〕

2 〈分数の計算〉 次の計算をなさい。

□(1) $\frac{3}{8} + \frac{5}{12}$

□(2) $1\frac{5}{6} + 2\frac{3}{10}$

〔 〕

〔 〕

□(3) $\frac{7}{12} - \frac{5}{9}$

□(4) $3\frac{1}{6} - 2\frac{4}{15}$

〔 〕

〔 〕

3 〈整数の性質〉 次の問いに答えなさい。

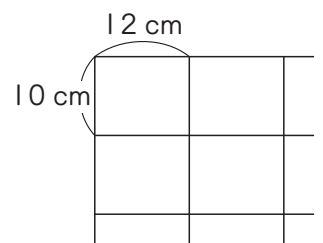
□(1) 1 から 50 までの整数で、3 の倍数は何個ありますか。

〔 〕

□(2) 16 と 40 の公約数を、小さいほうから順に全部求めなさい。また、最大公約数も求めなさい。

公約数〔 〕 最大公約数〔 〕

□(3) 右の図のように、縦 10 cm 、横 12 cm の長方形のタイルをすきまなくしきつめて、できるだけ小さい正方形をつくります。正方形の1辺の長さは何 cm になりますか。



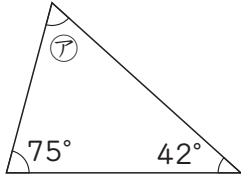
〔 〕

□(4) あめが 45 個とクッキーが 27 個あります。これをそれぞれ同じ数ずつ、できるだけ多くの子どもに、あまりが出ないように配ります。1 人分のあめとクッキーは、それぞれ何個ですか。

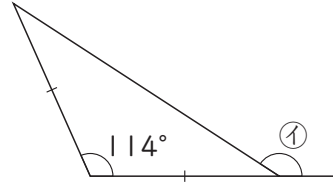
あめ〔 〕 クッキー〔 〕

8 〈図形の角〉 次の図で、ア、イ、ウ、エの角度は何度ですか。

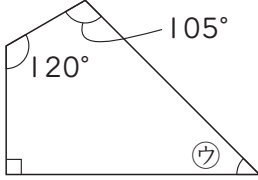
□(1)



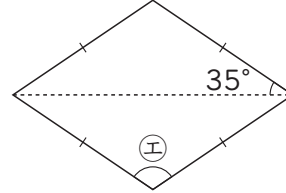
□(2)



□(3)

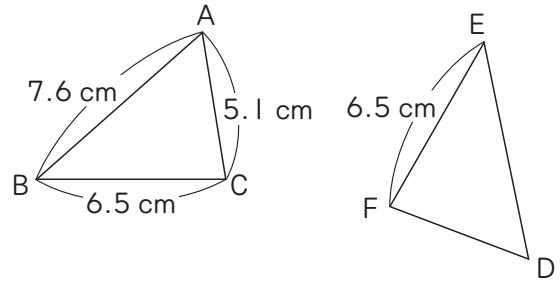


□(4)



9 〈合同な図形〉 右の図で、三角形ABCと三角形DEFは合同です。

□(1) 頂点Bに対応する頂点はどれですか。

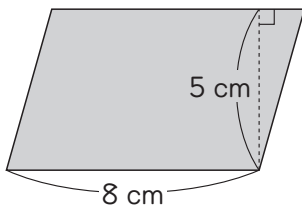


□(2) 角Cに対応する角はどれですか。

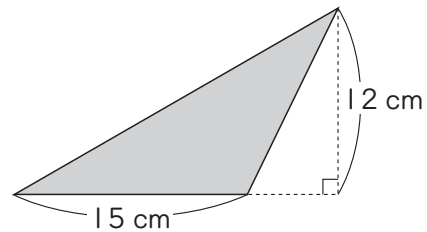
□(3) 辺DFの長さは何cmですか。

10 〈図形の面積〉 次のかげのついた図形の面積を求めなさい。(3)、(4)で、方眼の1目もりは1cmです。

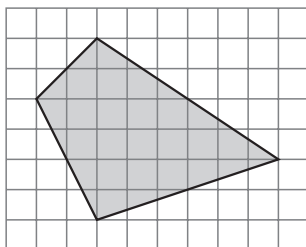
□(1) 平行四辺形



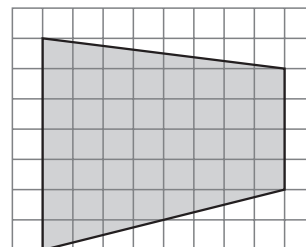
□(2)



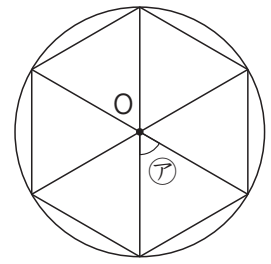
□(3)



□(4)



11 〈円と正多角形〉 右の図のように、半径 5 cm の円 O を利用して正六角形をかきました。



□(1) 図のアの角度は何度ですか。

{ }

□(2) 円 O の円周の長さを求めなさい。ただし、円周率は 3.14 とします。

{ }

□(3) 正六角形のまわりの長さを求めなさい。

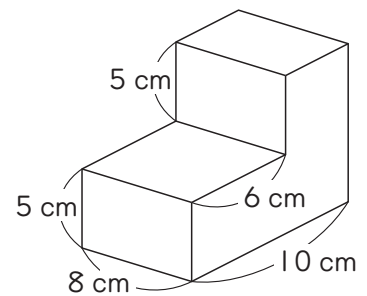
{ }

12 〈直方体や立方体の体積〉 次の問いに答えなさい。

□(1) 1 辺が 8 cm の立方体の体積は何 cm^3 ですか。

{ }

□(2) 右の図は、直方体を組み合わせてできた立体です。この立体の体積は何 cm^3 ですか。



{ }

□(3) 内のは縦が 20 cm、横が 40 cm、深さが 30 cm の、直方体の形をした水そうがあります。この水そうに 20 L の水を入れると、水の深さは何 cm になりますか。

{ }

13 〈角柱と円柱〉 右の図 1、図 2 は、ある立体の展開図です。

□(1) それぞれ、何という立体の展開図ですか。

図 1 { } 図 2 { }

□(2) 図 1 の展開図を組み立てたとき、面アと平行になる面を答えなさい。また、垂直になる面をすべて答えなさい。

平行 { } 垂直 { }

□(3) 図 2 において、辺 AB の長さは何 cm ですか。ただし、円周率は 3.14 とします。

{ }

図 1

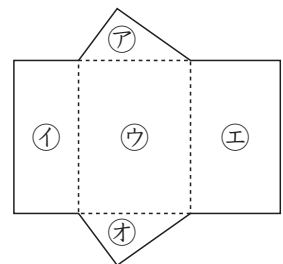
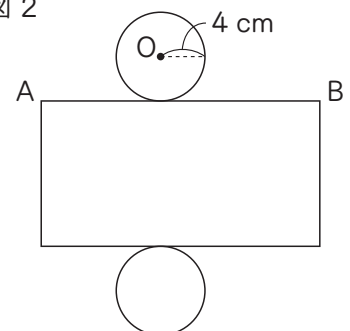


図 2



5年の復習

→p.4~p.7

1 (1) 18 (2) 16.832

(3) 120 (4) 3.4

2 (1) $\frac{19}{24}$ (2) $4\frac{2}{15}$ (3) $\frac{1}{36}$

(4) $\frac{9}{10}$

3 (1) 16個

(2) 公約数…1, 2, 4, 8

最大公約数…8

(3) 60 cm

(4) あめ…5個, クッキー…3個

4 (1) 左から, 240, 7

(2) $80 \times \square = \bigcirc$, 比例する

5 (1) 116 g

(2) 25 L

6 (1) 11 km (2) 25 秒

(3) 時速 $\frac{25}{4}$ km

7 (1) 0.6 倍 (2) 215 L

(3) 3500 円

8 (1) 63° (2) 147° (3) 45°

(4) 110°

9 (1) 頂点 E (2) 角 F (3) 5.1 cm

10 (1) 40 cm^2 (2) 90 cm^2

(3) 24 cm^2 (4) 44 cm^2

11 (1) 60° (2) 31.4 cm (3) 30 cm

12 (1) 512 cm^3 (2) 560 cm^3

(3) 25 cm

13 (1) 図 1…三角柱, 図 2…円柱

(2) 平行…㊦, 垂直…㊦, ㊦, ㊦

(3) 25.12 cm

解説

1 (1) $5 \times 3.6 = 5 \times 36 \div 10$
 $= 180 \div 10 = 18$

(2) 小数点がないものとして計算し, 右から3けた数えて小数点をうつ。

$$(3) \begin{array}{r} 120 \\ 0.7 \overline{) 84.0} \\ \underline{7} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array} \quad (4) \begin{array}{r} 3.4 \\ 7.5 \overline{) 25.5} \\ \underline{22} \\ 300 \\ \underline{300} \\ 0 \end{array}$$

2 (1) $\frac{3}{8} + \frac{5}{12} = \frac{9}{24} + \frac{10}{24} = \frac{19}{24}$

(2) $1\frac{5}{6} + 2\frac{3}{10} = 1\frac{25}{30} + 2\frac{9}{30} = 3\frac{34}{30} = 4\frac{4}{30}$
 $= 4\frac{2}{15}$

(3) $\frac{7}{12} - \frac{5}{9} = \frac{21}{36} - \frac{20}{36} = \frac{1}{36}$

(4) $3\frac{1}{6} - 2\frac{4}{15} = 3\frac{5}{30} - 2\frac{8}{30} = 2\frac{35}{30} - 2\frac{8}{30}$
 $= \frac{27}{30} = \frac{9}{10}$

3 (1) $50 \div 3 = 16$ あまり 2 より, 16 個。

(2) 16 の約数…①, ②, ④, ⑧, 16

40 の約数…①, ②, ④, 5, ⑧, 10, 20, 40

共通の約数が公約数であり, そのうちの最大の数が最大公約数である。

(3) 正方形の1辺の長さは, 10 cm と 12 cm の最小公倍数である。

(4) 45 と 27 の最大公約数は 9 なので, 9 人に配ればよい。

4 切手の代金 = $80 \times$ 枚数

(2) (1) の表より, 一方の値が 2 倍, 3 倍, …になると, もう一方の値も 2 倍, 3 倍, …になっている。このような関係を比例という。比例する 2 つの数量を \square と \bigcirc で表すと,

(決まった数) $\times \square = \bigcirc$

5 (1) $(118 + 121 + 109 + 115$
 $+ 119 + 114) \div 6 = 116 \text{ (g)}$

別解 100 g をこえる重さの平均を求めて, 100 g に加えてもよい。

- (2) 1 L で走る道のりは、 $84 \div 7 = 12$ (km)
300 km 走るのに必要なガソリンの量は、
 $300 \div 12 = 25$ (L)

- 6** (1) 道のりは、 $220 \times 50 = 11000$ (m)
(2) かかる時間は、 $200 \div 8 = 25$ (秒)
(3) $48 \text{ 分} = \frac{48}{60} \text{ 時間} = \frac{4}{5} \text{ 時間}$ だから、時速は、
 $5 \div \frac{4}{5} = 5 \times \frac{5}{4} = \frac{25}{4}$ (km)

- 7** (1) $21 \div 35 = 0.6$ (倍)
(2) 去年使った灯油の量を \square L とすると、
 $\square \times 1.2 = 258$
 $\square = 258 \div 1.2 = 215$ (L)

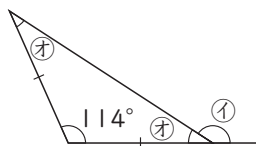
参考 もとにする量は去年使った灯油の量、
比べられる量は今年使った灯油の量である。
もとにする量 = 比べられる量 \div 割合

- (3) 利益は、 $2800 \times 0.25 = 700$ (円)
よって、定価は、 $2800 + 700 = 3500$ (円)

別解 利益の割合が 0.25 だから、定価の割合は、 $1 + 0.25 = 1.25$
よって、 $2800 \times 1.25 = 3500$ (円)

- 8** (1) 三角形の 3 つの角の和は 180° だから、
 $180^\circ - (75^\circ + 42^\circ) = 63^\circ$

- (2) 右図のように、二等辺三角形の 2 つの角の大きさは等しい。よって、

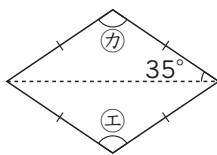


$$\text{カ} = (180^\circ - 114^\circ) \div 2 = 33^\circ$$

$$\text{キ} = 180^\circ - 33^\circ = 147^\circ$$

- (3) 四角形の 4 つの角の和は 360° だから、
 $360^\circ - (105^\circ + 120^\circ + 90^\circ) = 45^\circ$

- (4) 図の四角形はひし形で、1 本の対角線で 2 つの二等辺三角形に分けられる。よって、



$$\text{カ} = 180^\circ - 35^\circ \times 2 = 110^\circ$$

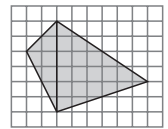
また、ひし形の向かい合う角は等しい。

- 9** ぴったりと重ね合わせることでできる 2 つの図形を合同であるといい、重なり合う点、角、辺を、それぞれ対応するという。対応関係は、点 A と D、点 B と E、点 C と F
(3) 辺 DF は、辺 AC と対応する。

- 10** (1) 平行四辺形の面積 = 底辺 \times 高さ
 $8 \times 5 = 40$ (cm²)

- (2) 三角形の面積 = 底辺 \times 高さ $\div 2$
 $15 \times 12 \div 2 = 90$ (cm²)

- (3) 右図のように、2 つの三角形に分ける。



$$\text{左} = 6 \times 2 \div 2 = 6$$

$$\text{右} = 6 \times 6 \div 2 = 18$$

$$6 + 18 = 24$$
 (cm²)

- (4) 台形の面積 = (上底 + 下底) \times 高さ $\div 2$
 $(4 + 7) \times 8 \div 2 = 44$ (cm²)

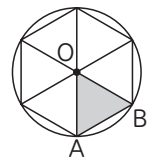
- 11** (1) 円の中心 O のまわりの角を 6 等分して、正六角形をかくことができる。

$$360^\circ \div 6 = 60^\circ$$

- (2) 円周の長さ = 直径 \times 円周率
直径は、半径の 2 倍で 10 cm である。

$$10 \times 3.14 = 31.4$$
 (cm)

- (3) 右図で、三角形 OAB は正三角形である。よって、正六角形の 1 辺の長さは、円の半径に等しい。



$$\text{まわりの長さ} = 5 \times 6 = 30$$
 (cm)

- 12** (1) 立方体の体積 = 1 辺 \times 1 辺 \times 1 辺
 $8 \times 8 \times 8 = 512$ (cm³)

- (2) 図 1 または図 2 のように 2 つの直方体に分ける。または、図 3 のように、大きな直方体から小さな直方体をひく。

図 1

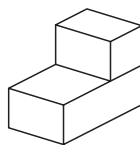


図 2

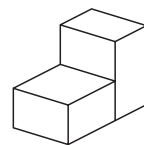
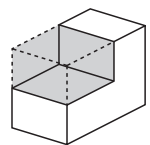


図 3



- (3) $20 \text{ L} = 20000 \text{ cm}^3$

水の深さを \square cm とすると、

$$20 \times 40 \times \square = 20000$$

$$20000 \div 800 = 25$$
 (cm)

- 13** (2) 面アとイは底面になるので平行である。面ウ、エ、オは側面になるので、底面のアと垂直である。

- (3) 辺 AB の長さは、底面の円の円周の長さと同じ。 $8 \times 3.14 = 25.12$ (cm)